

目地補修工（クラック防止シート張工） 特記仕様書

第 1 条 総則

1. 1 適用範囲

本特記仕様書は、名古屋市緑政土木局が所管する舗装工事において施工するリフレクションクラック抑制を目的としたクラック防止シート張工に適用する。

1. 2 目的

クラック防止シート張工は、切削オーバーレイ工法及びオーバーレイ工法を行う際、アスファルトの舗設に先立って実施する工法である。クラック防止シート張工は、既設舗装と新しい表層との間で目地及びひびわれの動きを吸収し、オーバーレイ層へのリフレクションクラックの発生抑制を目的として施工する。

1. 3 その他

本特記仕様書に記載されていない事項については、請負工事等関係規定、設計図書、土木工事標準仕様書（名古屋市緑政土木局）、舗装設計施工指針および舗装施工便覧を適用する。

第 2 条 使用材料

クラック防止シート張工に使用する材料は、以下の項目に示す品質を満たすものでなければならない。

2. 1 シート材料

使用するシートは、基材に高張力のガラス繊維を用い、改質アスファルト等を含浸コーティングさせた、柔軟性を持ち且つ接着性に優れたシートを使用する。シートを含む切削機によって粉碎された切削廃材及び舗装打ち換えにより発生した A s 塊は、再生骨材としてリサイクル可能なものでなければならない。

シートの基本性状は、表-1 に示すとおりである。

表-1 シートの基本性状

試験項目	単位	規格値	試験方法	備考
厚さ	mm	1.5~2.5	JIS A 6013	
幅	mm	330 -0, +10		
		500 -0, +10		
		1,000 -0, +10		
引張強さ	長手方向	N/mm	40 以上	巻込チャック法
	幅方向	N/mm	40 以上	
寸法安定性 (長手方向伸縮量)	%	0.2 以下	JIS A 6013	
せん断接着強度 (20℃)	(N/mm ²)	0.15 以上	防水層設計施工資料	
引張接着強度 (20℃)	(N/mm ²)	0.61 以上	防水層設計施工資料	
防水性能	ml	0.5 以下	防水層設計施工資料	
低温可とう性 (-10℃)		合格	防水層設計施工資料	

2. 2 プライマー

使用するプライマーは速乾性で養生時間が短く、接着性が良く、耐水性に優れたものでなければならない。作業効率及び接着強度の観点から超速乾性タイプを推奨する。

プライマーの基本性状は、表-2に示すとおりである。

表-2 プライマーの基本性状

試験項目	単位	規格値		試験方法
		速乾性	超速乾性	
		0.3 ㍉/㎡	0.2 ㍉/㎡	
指触乾燥時間 (20℃)	分	60 以下	20 以下	JIS K5600-1-1
指触乾燥時間 (0℃)	分		40 以下	JIS K5600-1-1
不揮発分	%	50 以上	20 以上	JIS K6833
作業性		塗り作業に支障がないこと	塗り作業に支障がないこと	JIS K5600-1-1
耐水性		5日間で異常のないこと	5日間で異常のないこと	JIS K5600-6-1

第3条 施工手順

3. 1 舗装準備

既設舗装面または切削面は、必ず清掃すること。また、既設舗装に著しいクラックがある場合や目地に加熱式注入目地材を注入するなどの事前処理を必要とする場合がある。

下地が湿潤状態の場合にはガスバーナー等で事前に良く乾燥させる。プライマーは可燃物であることから火気には十分注意すること。

3. 2 施工

切削面の凹みにプライマーが溜まらないように、ローラー刷毛等を用いてプライマーを規定量均一に塗布する。プライマーの乾燥養生を行い、塗膜面を指で擦っても付着を生じない状態を確認する。プライマーの乾燥を確認後、シートを貼付する。貼付後、シートと下地の接着を高めるためにタイヤローラにて数回転圧を行う。貼付後は速やかにオーバーレイを行うことが望ましい。

第4条 その他

その他、不明事項については本市監督員と協議するものとする。

以上